

## 紺野 道昭 氏

株式会社こんの 代表取締役社長

当社は、古紙のリサイクルを行なっている会社で、来年度には65年目を迎える。他に産廃収集運搬と中間処理、書店、カフェも経営している。古紙を回収し、選別を加え梱包した製紙原料を製紙会社様に販売している。



一般的に、紙を1t作るのに30年物の立木が20本必要と言われている。弊社では昨年18万トンの古紙をリサイクルしていることから、360万本の立木、東京都千代田区と同じ面積の森林の保護を行ったことになる。

社是は、21世紀は心と環境の時代だということで「地球にやさしいココロロジー ～エゴからエコへ～」。エゴイストからエコを考える人への転換を志すもの。経営理念は「お客様、社員の物心両面の豊かさを追求しつつ、地球環境を最優先に考え行動する」。このほか「こんの三原則」という宣言を10年前に行った、弊社幹部十数名による一泊二日の合宿で作成した。

子どもの頃は、クズ屋の息子、ボロ屋の息子と呼ばれ、社員は全員パンチパーマで眼鏡は斜め、靴はエナメル、「紺野組」と呼ばれた方がいいような会社だった。何とか良い会社になりたいと、環境整備だけでなく社員の人間力の向上に取り組むことを決意し、「働くことの価値を認め、全ての働く人の意欲を高める」という項目に注力した。

具体的な項目をいくつか紹介する。毎年1月の第2日曜日に「新春の集い」と題して、全社員が一堂に会する機会を作り、社員の表彰を行なっている。例えば、採用前は引きこもっていた子も力を発揮し最優秀社員賞を取ったこと

がある。彼には今まで迷惑をかけたであろう両親の為に親孝行券を贈った。彼は「第2回私は自分の仕事が好き大賞」も受賞している。

百聞は一見に如かずの精神で、いい会社に習おうと、ベンチマーキング研修旅行も行なっている。菓匠shimizu様、伊那食品工業様、環境力大賞を取られた石坂産業様にも社員全員で見学に行った。また女性事務担当者対象の研修会では、独身女性の婚活応援も兼ね（笑）茶道教室も開催した。また掃除を通じて心のすきみをなくそうということで、「きれいにし隊」と銘打って会社周辺の清掃を行っている。現在、給料日はいつもよりもっと遠いところまで掃除をするというルールを社員が決めている。

また、社員のメモリアルを大切にし、誕生日にはバースデーカードを書き、ケーキやプレゼントを贈ることもある。お陰様で今年度の離職はゼロである。社内には公式サークルがあり、会社で助成金も出している。

さらに、社長室を開放してコーヒーを飲みながらコミュニケーションを交わし、ガス抜きや悩み相談ができるようにしたり、私の想いを伝えるために、給与明細にメッセージを載せている。これを全部綴じているという社員もいて、とても有難く思う。

2020年東京オリンピックの年は70周年を迎えるが、社員皆で新国立競技場で運動会をしようということになった。先日、早速予約の電話をしたが、電話を切られてしまい、メールで問い合わせようとしたら閉鎖されていたので、予約はまだ取れていない（笑）。

誕生日に社員からもらったチャンピオンベルトは私の宝物。従業員愛世界一と書いてあり、涙が止まらなかった。社員を愛する気持ちは誰にも負けない。

最後になるが、社長になって15年。毎日の微差、僅差の積み重ねでこのような賞をいただけた。今後も精進していく。